

専念寺通信

7月号 (NO.179) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

雨量の多い梅雨のあいまの空はもうすっかり夏の空です。梅雨のあいだに日本の各地では豪雨と台風による被害が相次ぎました。皆さま、お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。

☆盂蘭盆会

7月の13日から15日までがお盆です。関東地方、とりわけ東京だけが旧盆の8月にあたる7月13日からがお盆ですが、そのほかの地域ではお盆と言えば8月です。

お盆の「入り」の日には亡くなった人が帰ってくると言われています。入りの日には「迎え火」を焚いて祈り、戻って来た魂を迎えます。「明けの日」には「送り火」を焚いてあちら側に行く魂をお送りします。都会の密集地では実際に火を焚くことが、消防上の決まりでできなくなりましたが、精霊棚にぼんぼりをつけてお迎えすることはできます。精霊棚にはマコモを敷き、そこに茄子や胡瓜、玉蜀黍などの夏野菜をお供えます。ほおずきや花を供えます。ナスやキュウリにキビガラをさして馬や牛の形にしたものをご覧になった方も多いかと思います。これは、亡くなった人が帰ってくるときは脚の早い馬に乗って少しでも早く帰



ってきてほしい、そしてあちら側に戻っていく時は脚の遅い牛に乗ってゆっくりゆっくりと言ってほしい、という私たちの祖先の人たちの思いが込められているのです。

☆新盆合同供養

ことしは7月13日の月曜、11時から新盆合同供養を本堂にてとりおこなわせて頂きます。皆さまには郵便にてご案内させて頂きました。よろしくご参列下さいますようお願いいたします。

☆戦争と平和

いま、日本の政権の中央にいる人たちは、新しい法案を成立させようとしています。多くの法律学者がそれは憲法に反すると署名しました。毎週金曜に国家前で、「戦争反対」を呼びかける人の数は増える一方で若者のグループも数を増してきています。宗教者たちも声をあげています。仏教、キリスト教、神道、とさまざまな宗派を超えた集まりが「平和を守ろう」と集まっています。私たちは戦争に反対です。戦争は、そこにどんな理由があろうと国家によるおおがかりな「殺人」です。戦争に至らないように「工夫」するのが大人の智慧です。その「智慧」を最大限に活用しなければならないのが政治家です。私たちが収めた税金をもらって私たちのために働く人たちは「殺し、殺させる」ために生まれて来たものではありません。自国が攻撃にさらされた時だけ「自衛」する人たちがいて、戦争は永遠に放棄する、このままで良いではありませんか。このままが良いではありませんか。新しい法案は必要ありません。

写真は、本堂、それから昨年やって来た迷い亀です。亀は冬眠し、無事に中庭で活躍中です。皆さまどうぞお元気でお過ごし下さい。



平成27年7月1日 大黒